

**令和5年度 生涯学習推進施設運営委員会
(兼)しまね学習支援プログラム推進委員会 議事録 (概要)**

1. 日時 令和5年12月7日(木) 13:30～15:30
2. 場所 出雲合同庁舎501会議室
3. 議事
 - (1) 令和5年度の事業実施状況について
 - ①社会教育研修センターの機能・役割及び業務について
 - ②人材養成研修〔主催講座〕について
 - ③しまね学習支援プログラムの取組状況について
 - ・「しまね学習支援プログラム」の取組概要
 - ・「親学プログラム」の活用・普及状況
 - ・「地域魅力化プログラム」の活用・普及状況
 - ④令和5年度公民館等実態調査について
 - ⑤市町村支援の状況について
 - ⑥情報紙「しまねの社会教育だより」について
 - ⑦学習相談・教材貸出・視聴覚センター・放送大学について
 - (2) 令和6年度事業概要(案)について
4. 意見・要望等

| 意見・要望等 | 回 答 |
|--|---|
| 親学プログラムの開催状況について、スポーツ少年団や社会教育施設での体験の様子や実施経緯についてお聞きしたい。 | 職員が関わっているスポーツ少年団が縁で親学プログラム研修を実施したケースがあった。また、社会教育施設での事例は、施設の所長から親学プログラムの体験を取り入れたいとの依頼があり、内容を親子と一緒に体験できる活動に応用し実施したところ参加者に大変好評だった。 |
| 親学プログラムの「研修の機会」ベスト3はいずれも学校が研修の場所になっている。学校の方で親学プログラムに対してどのような認識を持っておられるか聞かせていただきたい。 | 親学ファシリテーターが保護者にいる学校は親学プログラムを研修で取り入れる声掛けがある。取り入れたい場合は、PTA研修の機会などに入れるなどの勧め方ができると考える。 (学校関係者の委員による回答) |
| 保育所での親学プログラムのニーズはあると思うので所長会等でアピールをもっとやってほしい。保護者の育児への不安解消のためにも組織として入っていいける工夫をしてほしい。また、小学校での保護者対象の研修はPTA主催なのでPTAの組織へ働きかけるとよいのでは。 | 年度初めに県の園長会で親学プログラムを体験していただく機会があり、このプログラムの魅力を実感していただくことができたと思っている。今後も、こういった機会をとらえ普及を図っていきたい。 |

| | |
|--|--|
| <p>家庭教育支援は大事で、今後無くなることはない。親学プログラムも変わりながら広げていく方法を考えていく必要がある。</p> | <p>実態や要望に応じてアレンジプログラムとしての活用する事例も増えている。また、そういったプログラムをセンターHPに掲載し普及を図っている。</p> |
| <p>親学プログラムについて、学び方について動画テキストなど、新しい学びの形を作っていくとよいのではないか。</p> | <p>現場の声や実態を踏まえながら新しい学び方が提案していけるよう取り組んでいきたい。</p> |
| <p>公民館等職員研修5回シリーズについて、研修回数が多いため参加しにくいことにより受講者が少ない課題をセンターとしてどのように捉え次年度の計画をしていくか説明してほしい。</p> | <p>研修に参加した方の活躍の様子を紹介することで研修の意義を伝えるとともに、質を確保しつつより参加しやすい研修の在り方を模索していきたい。</p> |
| <p>公民館等職員研修5回シリーズについて、開催時期を年度で変える等、参加しやすい時期にずらすことも検討してはどうか。あわせて、広報の仕方についても見直してみてもどうか。</p> | <p>公民館等実態調査では、研修参加回数は市町村によって差がある。担当課の考えによるところが大きいと思われる。担当課へ働きかけながら各市町村の年間スケジュールに配慮しながら日程調整にあたっていきたい。広報については、HPへの掲載や市町村担当課と連携しながらより多くの方に周知できる仕組みを考えていきたい。</p> |
| <p>センター主催の研修には県内で1カ所もしくは開催しないものがあるが、県内数カ所で開催する等参加しやすいものにならないか。</p> | <p>ライブ配信、オンデマンド配信も併用した開催も視野に受講機会の充実を図っていきたい。</p> |
| <p>人材育成が進んでいけば、「公民館等実態調査」の人材育成の項目で評価が上がっているはずであるが結果はどのような様子か。</p> | <p>参加された職員の満足度は高い。参加して終わりではなく今後の取組が大切と考えている。</p> |
| <p>地域学校協働本部事業についてなどは、コーディネーター研修で踏まえておられるか。</p> | <p>地域学校協働活動の推進も踏まえながら研修を企画している。今後もそのように進めたい。</p> |
| <p>現場の忙しさなど踏まえると、コミスクの様子などまた取り上げ紹介していただけるといい。</p> | <p>研修内容を検討する際に参考にしたい。</p> |